

**男女共同参画社会とは—**

女性は皆、生まれながらにして、家事や育児が得意でしょうか。男性は皆、生まれながらにして、リーダーシップがあり、バリバリ仕事ができるでしょうか。「女性なんだから、家事や育児が得意でなければ」「男性なんだから、弱音を吐かないものだ」そんなことが、押し付けられてしまう社会って、なんだか生きづらいと思いませんか？

「男らしく」「女らしく」ではなく、「自分らしく」生きていける社会

性別にかかわらず、喜びや責任を分かち合える、心地よい関係に！

「男女共同参画つうしん」「なばりのきらきらウーマン」

「男女共同参画つうしん」は6月にリニューアル(偶数月発行)。男女共同参画に関するニュースやイベントはもちろん、「自分らしく」人生を歩んでいる地域の女性を紹介する記事も人気。1,000円分の図書カードが当たる読者アンケートも実施中！

◎ いずれも、市ホームページをご覧いただけます。男女共同参画センターや市民センター、市役所にも設置

広報なばり

第2次男女共同参画基本計画  
〔2017(平成29)年～2026(令和8)年〕の中間見直しのため、市民意識調査と事業所アンケート調査を実施しました。「男は仕事、女は家庭」といった性別による固定的な役割分担は、いかに根強いのか。市民意識調査の結果を一部紹介します。

人権・男女共同参画推進室  
63-7559

令和の時代の男女の関係

市民意識調査にみる

名張市男女共同参画に関する市民意識調査

調査対象 市内在住の20歳以上の男女1,516人  
有効回収数 619人(内訳)女性52.3%、男性46.4%、どちらともいえない、または答えたない0.2%、無回答1.1%

名張市男女共同参画に関する事業所アンケート調査

調査対象 市内の事業所のうち、名張市人権・同和教育推進協議会企業部会加盟の168の事業所  
有効回収数 79事業所(内訳)支社・支店・営業所・工場46.8%、単独事業所27.8%、本社・本店22.8%、その他2.5%

調査結果について詳しくは、市ホームページをご覧ください。  
男女共同参画基本計画なども掲載しています。

◎ いずれも、令和2年4月10日～5月15日に調査を実施しました。ご協力ありがとうございました。

◎ 表現単位未満四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

**Q 女性の働く環境について、10年前に比べてどう変化した？**

職場では？

項目	増えた	変わらない	当時はまらない・無回答
責任のある職務に就く女性	53.2%	40.5%	6.4%
女性の勤続年数	50.6%	39.2%	10.1%
女性が配属される部署	30.4%	62.0%	7.6%
女性の採用	31.6%	60.8%	7.6%

女性が、出産、子育て、介護などの理由で、仕事を辞めずに働き続けるために、必要なことは？

理由	男性	女性
職場の環境づくり…	53.7%	56.2%
柔軟な勤務体制…	26.5%	36.4%
経済的支援…	24.7%	24.4%

地域では？

役職	H26	R2	増	減	無回答
引き受ける	31.0%	37.3%			8.4%
断る	60.6%	55.9%	5.8%		
引き受けを薦める	50.0%	48.8%		4.9%	6.3%
断ることを薦める	42.1%	44.9%			7.9%

▶前回調査(平成26年)に比べ、「引き受ける」とする女性が増えた一方で、「断ることを薦める」とする男性が増加しました。

▶「断る」「断ることを薦める」と答えた理由で最も多いのは、「家事・育児・介護に支障が出るから」で34.5%となっています。

**Q 家事はどうに行うべき？**

家庭では？

実際のところ、家事などを誰が担ってる？

妻「ほとんど妻がしている」「妻が中心だが夫も手伝う」の割合の合計 分「夫婦の間で平等に分担している」割合 夫「ほとんど夫がしている」「夫が中心だが妻も手伝う」の割合の合計 ※その他、親・子が実施、該当家事なしなど

令和2年 平成26年

「男性と女性が分け合って行うべき」 43.0% → 54.1%

食事の支度 食事の後片付け 洗濯 家の掃除 日常の買い物 育児

役割	妻	夫	分	妻	夫	分	妻	夫	分	妻	夫	分	妻	夫	分
食事の支度	88.3%	5.0%	4.3%	77.6%	10.0%	9.6%	83.7%	5.8%	7.8%	77.2%	8.9%	12.0%	74.4%	7.2%	15.2%
食事の後片付け															
洗濯															
家の掃除															
日常の買い物															
育児															

Q 男性が家事・育児へ積極的に参加するために必要なことは？

- 家庭内のコミュニケーション…64.3%
- 男性自身が抵抗感をなくす…45.1%
- 上司や周囲の理解…38.1%

Q 家庭の中で、男女の地位が平等になっていると思いますか？

性別	男性	女性
男性が優遇されている	24.8%	44.1%
平等である	56.8%	37.3%
女性が優遇されている	10.5%	8.9%
分からぬ・無回答	8.0%	9.6%

男女に差が！

**Q 女性の社会進出を進めていくためにも、家庭での家事や育児の分担がカギ**

労働力人口が減少し、女性の社会進出がこれまで以上に求められている中、女性活躍推進法の施行(平成28年)などを背景に、市内の事業所でも、女性の活躍の場が広がっています。

「女性が出産や子育て、介護などの理由

で仕事を辞めずに働き続けるために必要なこと」を聞くと、育児・介護休業制度を利用しやすい職場の環境づくりが男女ともにトップ。2位以降は、男女で回答が分かれ、女性では、「家族や周囲の理解・協力」を求めている人が多く見られました。

たまたま、女性の地域活動について、「断る」「断ることを薦める」とした理由で「家事・育児・介護に支障が出る」とした回答が最も多くなるなど、家庭内で、いかに男女で家事・育児などを分担できるかが女性の社会進出のカギとなっています。

**Q 男性の家事参画への意識は高まっているものの、もう少し行動に結び付けたい…**

一方で、実際の家事分担を聞くと、妻が行っている割合が高く、意識と行動の間にギャップが見られました。ただし、育児は、家事に比べ夫婦で分担する割合が高くなっています。

こうした状況の中、「家庭における男女の地位」を聞くと、「平等である」としたのは男性で56.8%、女性で37.3%と、19.5ポイントもの差が開き、男女の意識にズレが見られる結果となりました。まずは、家庭内でのコミュニケーションを図っていくことが重要なかもしれません。